



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

公益財団法人 日本防災通信協会は、警察と連携して防犯思想を啓発し、110 番非常通報装置を普及させ、それを適正かつ効果的に運用・活用することにより、同装置を設置した事業所（施設）における防犯活動を支援し、安全で安心して生活できる社会の実現に寄与することを事業の目的としています。

110 番非常通報装置の適切な運用に向けた支援・110 番非常通報装置設置事業所（施設）の防犯対策向上に向けた支援・110 番非常通報装置の設置勧奨などの活動を通じて、安全な地域づくりに貢献します。

金融機関における強盗事件や幼稚園・保育所・学校、障害者支援施設・高齢者施設等における不審者侵入事件等、各種犯罪の防止に努め、様々な機会を生かして、多様性を活かす風土づくりとダイバーシティ社会の実現に貢献します。

令和3年8月14日

公益財団法人 日本防災通信協会 茨城県支部

茨城県支部 統括支部長 森島 貞一